

第6回 鶴川・沙流川 減災対策協議会 議事要旨【速報版】

日時：令和元年7月2日（火）13:30～15:15

会場：ふれあいセンターびらとり 1F 多目的集会室

構成員：室蘭開発建設部長、室蘭地方気象台長、旭川地方気象台長（欠席）
胆振総合振興局長（代理）、上川総合振興局長（代理）、日高振興局長（代理）、
むかわ町長（代理）、厚真町長、占冠村長、平取町長、日高町長、
北海道旅客鉄道（株）（代理）、北海道警察本部警備部長（代理）、
北海道警察本部旭川方面本部警備課長（欠席）、
北海道電力株式会社日高水力センター（代理）

《議事内容》

- ① 話題提供
- ② 規約の改定
- ③ 取組方針に基づく各機関の取組状況及び今後の予定について
- ④ その他

《協議会委員からの主な意見》

（室蘭開発建設部）

・「鶴川むかわ町水害タイムライン試行版の完成」や「平取町・日高町流域間タイムラインの検討」「防災教育の支援」について実施していく。

（室蘭地方気象台）

・スーパーコンピューターの更新などにより、予測精度向上を図り、防災行動のトリガーとしての「警報の危険度分布」「台風強度の5日先予報」などを行ってきた。今後も適時的確な情報提供に努めていく。平時では、防災知識の普及に引き続き取り組むとともに、地域に寄り添う気象台としての役割を果たしていく。

（胆振総合・上川総合・日高振興局（代理））

・ハード対策について河道掘削等計画的に実施している。
・ソフト対策について「危機管理型水位計の設置」「簡易型河川監視カメラ」「指揮室設置訓練や情報伝達訓練等」「1日防災学校の開催」について実施している。また、胆振東部地震の検証を実施し、通信訓練等を実施している。

（北海道電力日高水力センター（代理））

・電力ダム管理者として協議会に参画し減災対策に協力していきたい。

(むかわ町(代理))

- ・震災を踏まえ地域防災計画の見直しを実施している。また、鷗川タイムラインと整合を図っていく。また、復興計画を検討している。
- ・災害時の「心のケア」が重要なことから仏教会との協定を検討している。
- ・防災無線が、家屋内では聞こえづらいため個別受信器の配布を検討している。

(厚真町長)

- ・胆振東部地震対応について検証を実施している。
- ・気象台には(土砂災害警戒判定) 1kmメッシュ情報の提供を早期にお願いしたい。
- ・コミュニティータイムラインに取り組みたい。また、分野別(災对本部の各班別)の訓練も重要と考えている。
- ・タイムラインカンファレンスが北海道で実施されるので、他地域との情報共有を図っていく。
- ・防災教育は重要。防災計画を検討する上で、「子ども」が行動を起こすトリガーとなる。

(占冠村長)

- ・避難訓練など地域防災訓練に取り組んでいる。また、地区ごとに防災資材を援助している。
- ・鷗川の「千歳橋」の水位情報についてテレビのデータ放送による情報提供をお願いしたい。
- ・冬期に防災訓練を実施したところ、今後、検証を行う予定。

(日高町長)

- ・胆振東部地震対応について検証を実施している。
- ・昨年7月豪雨を踏まえた「提言」が示されたが、自治体共通課題として住民が「自らの命は自ら守る」意識を持ってもらう必要がある。
- ・7月25日には、要配慮者を含む避難訓練を実施する。

(平取町長)

- ・自主防災組織の訓練を実施する。
- ・タイムラインを引き続き取り組んでいく。
- ・胆振東部地震を踏まえ震度4から職員参集することとした。また、ブラックアウト対策として衛星電話を導入することとした。
- ・平取ダムの完成の推進をお願いする。

《意見・質疑応答》 ■（意見、質問） □（回答）

（室蘭開発建設部）

■本会は、水防法に基づく法定協議会であるものの、胆振東部地震を踏まえ大規模河道閉塞や土砂災害などを取組方針に追加してはいかが。また、それに合わせて、当部の厚真川水系砂防事務所もメンバーに加えたい。

（各委員）

□了解。

（厚真町長）

■住民の避難率を向上するためには、避難解除までのイメージ（道すじ）を示す必要がある。日高幌内川（天然ダム）の段波対応タイムラインについては、湛水池の水位が下がるまで避難解除が難しいと聞いているところ、水位を下げるための排水ポンプの能力を伺いたい。

（室蘭建設管理部、室蘭開発建設部）

□厚真川本川の水位状況等を踏まえた検討が必要であり、現時点で避難解除までの期間を示すのは難しいと思料。また、排水能力については、資料を用意していないので、後日回答したい。

■タイムラインによる避難行動を実施する際、人的支援を含め具体的な実施方法を伺いたい。

（室蘭開発建設部）

□住民避難を検討するような場面においては、早い段階でリエゾンを派遣することになるだろう。タイムラインは各機関の担当者が変わったこともあるので7月中に勉強会を開催する。具体的な実施方法は、その時に担当者に説明したい。

■再び震度7が発生しないか住民は不安を感じているので、今後の見通しについて伺いたい。

（室蘭地方气象台）

□一般論として、今回の地震活動については、このまま収束していくと思われ、同じ領域で再び震度7が発生することは考えにくい。しかし、今回の地震で、力のバランスが変わっているため、特に今回の活動域の西側にある石狩低地東縁断層帯が動くと大きな地震となる可能性があるため留意は必要。